

2026 年度 武蔵野学院大学 国際コミュニケーション学部
総合型選抜第 1 回の「プレゼンテーション」

試験科目

プレゼンテーション (60 点)

以下のテーマについて、面談者 (2 名) の前で、約 3 分間のプレゼンテーションをしてもらいます。
その後、プレゼンテーションの内容に関する質疑応答の時間があります。

テーマ

「国際社会での非言語コミュニケーション」

テーマの主旨

コミュニケーションは主に、2 つのやりとりに分けられます。第一に、さまざまな民族や部族の間で、あるいは国家で定められた公用語などの言語でやりとりされるもの。第二に、人の表情や身振りに加え、道路標識のような記号や平和のシンボルとしての鳩、またテレビやインターネットで用いられる写真や映像などのように、非言語でやりとりされるもの。非言語でのコミュニケーションは、言語を越えて人々に瞬間的な共感や情報を与える力を持つ一方で、政治家によるプロパガンダやフェイク・ニュースのように、言語を越えて人々を扇動する危険性を持っています。

皆さんには、「非言語コミュニケーションのメリットとデメリット」を考えてもらい、そのメリットを最大限にするため、インターネットなどのユーザーである個人、ジャーナリストやマスメディア、そして国際社会などが行うべきだと思うことを提言してもらいます。

ただし、面接者の前で行うプレゼンテーションですから、あなた自身にしか分からない言葉を用いる、説明が不十分であるなどの場合には、高い評価を得ることはできません。あなたの興味・関心に詳しいとは限らない面接者に対し、理解してもらえるように工夫しましょう。したがって、「より良い非言語コミュニケーション」を象徴する写真や絵、音などのツールを自由に用いてください。また、動画の作成なども歓迎します。創意工夫を凝らして理路整然と順序立てて話すようにしましょう。